



私の 試算表活用術 (B/S・貸借対照表)

- 未来の姿(B/S)を描いて、モチベーションを高める -

まずは、純資産合計の金額を自らミズ色(蛍光ペン)でなぞって、自社の過去の利益(純資産合計 - 資本金)の累積を確認する。

続いて、現金・預金もミズ色でなぞって残高を確認する。

儲かったお金は、どこにどれだけ流れたかを考える。棚卸資産、不動産、有価証券など。

次に、短期借入金、長期借入金の金額をピンク色でなぞって、借入合計残高を確認する。簡易借入返済能力(月次利益 + 月次償却 - 税金)から見て、返済期間(何か月)はどれくらいかをイメージする。

その次は、消費税の科目(仮受消費税、仮払消費税、未払消費税)をオレンジ色でなぞって、その差額の金額(支払予定消費税)を認識する。そして、その金額が現金・預金の残高で留保しているかを確認する。

又、売掛金残高、棚卸在庫(毎月集計している場合)をキミドリ色でなぞって、回収状況は適正か、不良在庫はないかをイメージして、早期に現金化することに執着する。

有形固定資産(土地、建物、車両、備品など)、投資等(有価証券)の中身が常に有効活用できているかを検証する。スリムな筋肉質体質になっているかを考え、不要なものは現金化する。そして、引き締まったB/Sを目指す。

B/Sに数字が表れない簿外債務(従業員退職金など)がある場合は、計上するか、又は必ずその金額を計算しておく。

未来(5年後、10年後)のB/Sの姿を、幹部で話し合い、幹部全員でモチベーションを高めていく。

科目	金額	科目	金額
現金預金	×××	短期借入金	×××
売掛金	×××	未払消費税	×××
棚卸商品	×××	仮受消費税	×××
	×××		
仮払消費税	×××		
		長期借入金	×××
有形固定資産	×××	(退職金)	(×××)
		資本金	×××
投資等	×××		
		純資産合計	×××
資産合計	×××××	負債・純資産合計	×××××